

# KI News & Topics

## Irregular Newsletter vol,5



大木記念女性のための菊池がんクリニック・ストレスケアセンター

〒359-1133 埼玉県所沢市荒幡111-1 Tel/04-2928-7311 Fax/04-2928-7306

### 特集：乳がん治療の最前線

乳腺外科 佐藤一彦医師

乳がんは乳房の乳腺にできるがんです。乳腺は母乳を作る「小葉」とそれを乳頭まで誘導する「乳管」に分けられます。これらを構成する細胞の遺伝子に変異し、がん細胞となって増殖したものが乳がんです。乳がんはこれらいずれかより発生しますが、それらは硬い膜によって包まれており、発生初期は「非浸潤性」といってがん細胞がその膜の中に留まっている状態ですが、さらに進行するとその膜を破って「浸潤性」という状態になります。

従って、乳がんは大きく「非浸潤性小葉癌」「非浸潤性乳管癌」「浸潤性小葉癌」「浸潤性乳管癌」に分けられます。

#### ■乳がんの発生率

日本における乳がんの罹患者数は増加しつつあり、それに伴って死亡者数も増加しています。40歳代を中心に乳がん死亡率は、04年には胃がん、肺がんに続いて女性におけるがん死原因の第3位となっています。発生頻度も第1位です。

#### ■乳がんの診断とは

乳がんは「乳房のしこり」

「乳頭からの分泌物」など自覚症状のある疾患ですので定期的な乳房の自己検診が大切です。しかし自己検診では分からないような病変が生じている場合もありますので、マンモグラフィや乳房超音波、乳房MRI検査なども行われます。

確定診断には、細い針を病変に刺して細胞を吸い取る「穿刺吸引細胞診」や太めの針から組織を得る「針生検」が行われます。

#### ■乳がんの最新治療

「浸潤性」に至った乳がんは既にがん細胞が全身に散らばる可能性のある「全身病」として扱う考え方が定着してきました。従って、手術は全身治療を重視した必要最小限の局所療法として行われます。乳房を切除する手術に代わり、腫瘍を摘出した乳房に放射線照射を行う方法が一般的となりました。更に「センチネル（見張り）リンパ節生検」では、乳房からのリンパの流れが最初に到達し、最も転移の可能性のある「センチネルリンパ節」のみを摘出します。そこにがん細胞が存在していなければ腋窩郭

清が省略できます。乳房温存手術後は約5週間全乳房に対し放射線照射を行います。近年その負担軽減を目的とし、腫瘍切除部の周囲のみ乳房照射を行う方法が実用化されつつあります。この方法では術後数日間の照射で終了するため負担は大きく軽減されます。

全身治療としては、副作用の少ない分子標的薬による治療法が次々に開発されています。「ハーセプチン」という分子標的薬は08年3月より術後の再発リスクを減らす目的として保険適応になりました。同じく「ラパチニブ」も09年春頃には認可される予定です。

